

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要

建物名称	イリーゼ宮の森	BEE	1.2	BEEランク	B ⁺
建物用途	病院	総合評価 ★★★★★			
延床面積	2,123.63 m ²				

2 重点項目への取り組み

レーダーチャート



3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア

A 省エネルギー				合計 18点 / 24点
Q1 温熱環境	スコア	2.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 3.0
Q1 光・視環境	スコア	4.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0
			LR1 設備システムの高効率化	スコア 6.0
			LR1 効率的運用	スコア 2.0
B 省資源等				合計 16点 / 23点
Q2 耐用性・信頼性	スコア	1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア 5.0
			LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0
C 緑化				合計 8点 / 16点
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	2.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	4.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0		
D 雪処理				合計 1点 / 3点
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 0.0

4 設計上の配慮事項

A 省エネルギー		
共用部の照明は人感センサー等を採用し省エネに努める。居室の窓は2重窓として空調負荷の低減に努めた。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
衛生器具は節水型を使用し、照明器具はLEDを採用することで省資源化を図る、	道路面に緑化を設け、周辺環境への配慮した。	車寄せや駐車場はロードヒーティングを採用し除雪範囲が少なくなるように計画した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される